

食に関するおすすめの本

おいしい給食 紙吹みつ葉



服装に困る「スパゲッティ」パンに隠れた「いちごジャム」手が汚れる「揚げパン」皆さんの好きな給食は何でしたか？それらをどのように食べていましたか？この小説では給食を愛し、給食のためだけに学校に来ている「給食絶対主義者」である教師と、何が何でも給食を美味しく食べる一人の生徒の闘いが繰り広げられています。少しの感動と、大きな笑いと、二人の給食への愛が深く描写されています。食の見方と食べ方が考えられる小説を読んで、今一度抜けがちな食事を笑いと共にとってみてください。

注文の多い料理店 宮沢賢治



山の中で道に迷った二人の紳士が、偶然見つけた「山猫軒」という立派な料理店。中に入ってみると、奥にある扉には「帽子をぬいでください」「靴をぬいでください」などの指示が。それに従い次の部屋へ進むとまた前の扉に指示が書いてある。次々に出される指示に従って二人は中へ進んでいきます。けれど、その注文はだんだんとおかしなものになり、店の中の雰囲気も少しずつ不気味さを帯びていきます。幻想的な世界の中にある小さな違和感に惹き込まれ、ハラハラが止まらない作品です。ぜひ読んでみてください。

十年屋 廣嶋玲子



どうしても捨てられないもの、守りたいもの、遠ざけたいものを持っている人にだけ届く、「十年屋」への招待状。時の魔法を操る主人が、十年だけ大切なものを保管してくれます。作品の見どころの一つに、「十年屋」の執事猫であるカラシが出すお菓子があります。お客様一人一人に合わせてお菓子の種類を工夫してあって、その質感やにおいの表現から、まるでそこにあるように感じます。寒さが厳しいこの時期に、家でゆっくり読書をするのもいいかもしれません。その際には、ぜひ「十年屋」も読んでみてくださいね。

百年厨房 村崎なぎこ



とある男性のもとで急遽始まった波乱万丈の新生活。存在も知らなかった姪、タイムスリップしてきたと思われる女性、お節介な友人。そんな4人は大正時代からやってきた女性を作る「百年前の料理」を通して次第に打ち解け、過去に思いを馳せていく。甘露梅、冷やしコーヒー、ベークアップルにミルクセーキ、様々な料理が細かに紹介される描写が何より印象深く、それを通して変化していく主人公たちの心境。タイムスリップというファンタジー的な要素も交えつつ現実的な人間の内面感情とも向かい合っていく本作品を是非ご覧あれ。

姫様”拷問”の時間です 春原ロビンソン、ひらけい



魔王城の地下牢に囚われた姫様は、王女でありながら数多の戦場を戦い抜いてきた騎士団長。今更並大抵の仕打ちには決して屈しない！「それでは大変心苦しいですが…姫様”拷問”の時間です」そう言って拷問官が持ってきたのは……トースト？？つい秘密を話してしまいたくなるような”拷問”の数々、個性豊かな拷問官たち、どんどん暴かれていく王国の重要な秘密…読んでいるとなにかお腹が空いてくる、ゆるゆるファンタジー漫画！今日の夜ご飯はこの”拷問”にしませんか？